

ロボティクス&デザイン工学部 アドミッション・ポリシー

ロボティクス&デザイン工学部は、工学的な知識・技術を、ユーザ視点から活用し、持続可能で豊かな社会の実現に寄与する人材を育成することを目的としています。そのために、本学への入学者には、大阪工業大学のアドミッションポリシー「求める人物像」に加えて、以下のような諸要素の素地を持ち、入学後には学業・課外活動などを通して自らを高める努力を継続できる人物を求めます。

求める人物像

1. 共感をもって他者を理解しようとする姿勢を持つ人
2. チームの一員として、周囲の人々と協力し創造的な活動を行うことに意欲がある人
3. 自らの専門分野だけでなく、関連する工学分野や人や社会に関する広い好奇心を持ち、前向きに学ぶ姿勢を持つ人
4. 日本だけでなく、世界に活躍の場を広げてみたいというチャレンジ精神を持つ人

入学前に学習しておくことが期待される内容

本学は、時代と地域社会が要請する「現場で活躍できる専門職業人の育成」を建学の精神に掲げています。ロボティクス&デザイン工学部では、工学の基礎とデザイン思考という手法を身に付けることで、ユーザのニーズに基づいた製品やサービスを提案・開発のできる人材を育成します。ロボティクス&デザイン工学部の入学生には、あらゆる学びの基礎となる理科、数学、国語、英語に関する基本的な能力を身に付けていることを求めます。これに加え、自ら積極的に学ぶ意欲と好奇心、持続的に力を発揮し困難を乗り越える心の強さが必要です。また、デザイン思考の学びには、他者の気持ちを理解し共感をもって接する姿勢、集団の中で議論しながら協調して活動を進める力が求められます。入学前の学業・生活の中でこれらの資質を高める努力をすることを求めます。